

報 告

近畿病院図書室協議会第19回勉強会

研修部

日時：2004年6月24日（木）10：30～16：00

場所：姫路赤十字病院

プログラム：

1. 「近畿病院図書室協議会の成り立ち」

社会保険神戸中央病院 林 伴子氏

2. 「病院における図書室の役割とは？－基本的業務について－」

姫路赤十字病院 安東正子氏

3. 「病院図書館での文献取り寄せ業務－その手順と基本的マナー－」

大阪府立母子保健総合医療センター 中村雅子氏

4. 図書室および病院見学

5. 意見交換会

参加者数：22名

第19回勉強会は、病院図書館業務の基本の振り返りをテーマに行った。また、午後には姫路赤十字病院の見学会をプログラムに組み入れた。そのため、経験年数の短い担当者を中心に集まることになったが、他病院の状況を知るために見学会のみの参加もあった。

林氏の「近畿病院図書室協議会について」では、会の組織構成についての説明があった。また、近年の病院機能評価や新医師臨床研修制度の影響についても触れ、広い視野で当協議会のあり方を考えることもできたかと思う。

「病院図書室の基本業務」について、安東氏より説明があった。実務の説明だけにとどまらず、安東氏が担当1年目終了時に感想を書いた

スライドを使用されていたのは興味深かった。先輩担当者が1年目を終えてもった感想を、現在1年目の担当者が知ることは、今後の業務を考える上で非常に参考になると思われた。

「文献複写業務」については、ドキュメントデリバリーサービスから「文献複写ではいけないこと」まで詳細に中村氏から説明があった。改めて気付かされることも多く、1年目担当者のみならず、業務に慣れてきた2～3年目担当者にとっても勉強になったのではないだろうか。

病院見学では、図書室、ヘリポート、院内学校、病歴室、健診部などさまざまな場所を回らせていただいた。病院の建物は中庭を囲む形になっており、患者さまがくつろげるスペースが至る所に設置されていた。図書室は明るいスペースの中に、書籍・雑誌が整然と配架されていた。また、長いすに座れば手をのばしたくなるような位置に院内ニュースが置かれてあり、細かな気配りが感じられた。

病院見学の後、簡単な自己紹介と意見交換会を行った。時間の都合上、あまりそれぞれが長く話すことはできなかったが、見学をきっかけにお互いにさまざまな情報交換ができたのではないかと思う。今後もこのような勉強会を機に、自分の業務を見直し、また同じ業務を行う仲間同士でいい刺激を与え合うことができればと思う。

(文責：小川 香／耳原総合病院)